中野 敏勝 議員

動した「育児支援家庭訪問 境の確保を図り、これに連 与え、乳児の健全な育児環 の把握を行い母親に安心を る情報提供や養育環境など い時期に子育て支援に関す

ない。

が必要と判断された事例は 階での「ケース検討会議」

事業」がある、

生後4ヵ月

策 に 防



ましい事件が後を立 児童虐待による痛

分かった。そこで昨年4月 例4ヵ月以下ということが が0歳児で、その8割が月 ろ、死亡した子供の約4割 年々増加している。この状 は 3 7, 子供の事例を検証したとこ 虐待を受けて死亡に至った 刻化する児童虐待について、 ている。厚生労働省では深 待発生予防対策が求められ 況に対応するため、児童虐 相談所の虐待相談対応件数 たない。平成18年度の児童 343件であり 支援が必要と判断された場

の どのように実施されている 問を行う。これらの事業は 基づいて必要に応じて再訪

把握などを行っている。 や悩みの相談、 指導や育児等に関する不安 新生児訪問を実施し、 母子保健法に基づき、生後 んにちは赤ちゃん事業」は 0) 4週間以内に保健師による 町 全戸訪問、いわゆる「こ 長 生後4ヵ月まで 養育環境 保健

ないが、同様の事業として 実施している。 新生児訪問や健康相談等を 訪問事業」は取り組んでい 本町では「育児支援家庭

の継続訪問を実施しており、 例年、20件から30件ほど

の報告、

検討会議の結果に

までに全戸訪問を行った後

携帯電話

推進に 問 携帯電話には金、

買い換える時に、無償で使 バイルリサイクルネット 進んでいない現状、 用済み電話を回収するよう ワークによって携帯電話を よる自己回収システム、モ る必要がある。通信業者に で1億台以上も普及してい 再利用は重要であり、 われている。レアメタルの ウムなどのレアメタルが使 になっているが思うように 有効資源の回収に力を入れ る携帯電話、適切な処理と とともにリチウムやインジ 促進を呼びかけるべきと などの希少金属 ・町も回 国内

事業」をスタートさせ、早 事業・こんにちは赤ちゃん から「4ヵ月までの全訪問

われるが、本町ではこの段

合、「ケース検討会議」が行

新生児訪問や検診の結果

児に集中しており、これま で以上に、新生児訪問や の恐れのあるケースはない り、虐待や育児放棄のなど の育児不安が主なものであ 心身の発達の経過観察や親 育児虐待の死亡例は0歳

のリサイクルの サインも見逃さないよう、 重要となっている。 の支援に努めたい。

ついて

使用されている。 リチウムなどの希少金属が 金や銀のほか、インジウム

いる。 るなどの努力義務を課して 帯電話やパソコン等を回収 改正し、製造業者等に、 ために、「資源の有効な利 し、原材料として再利用す 用の促進に関する法律」を 用と、廃棄物発生の抑制の 国では、これら資源の活 携

約1,300万台であった 回収実績は、平成13年に 携を一層図り、要保護児童 3ヵ月健診での早期発見が 常に行い、関係機関との連 訪問や検診内容の見直しを 小さな

由

携帯電話のリサイクルに関 ているためと言われている。 の機能を利用する人が増え して利用するなど通話以外 ルカメラ、目覚まし時計と 電話帳、ゲーム機、デジタ ず、写真やメールの保存、 より、古い電話機を処分せ 660万台と半減している。 ものが、 しての認知度は低いと言わ 人も多いという実態もあり、 ごみとして捨てたという 回収実績が減少した理 携帯電話の多機能化に 平成18年度には

組みを進めていきたい。 で町民の関心を高める取 に貢献するために、 ともに、希少な資源の活用 め、廃棄物を減少させると 携帯電話のリサイクルを進 から、回収事業を支援し、 な資源の確保は重要なこと ある我が国において、貴重 れている。 町としても、 資源小国で 広報等



町長 携帯電話には、 考える。